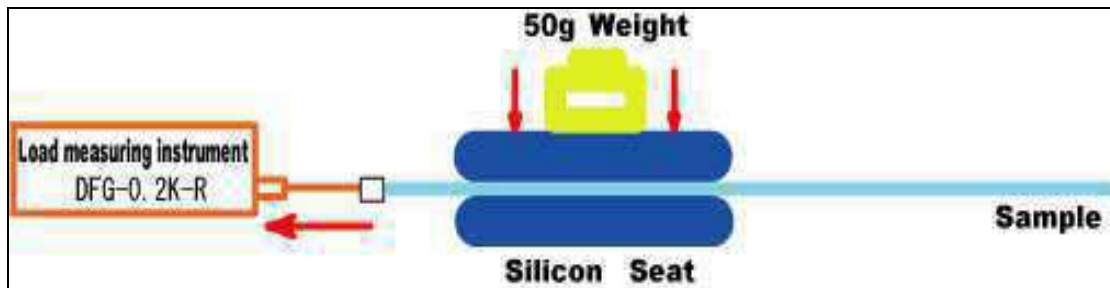


## ■ 今までにない 耐久性 と 潤滑性

潤滑性の試験方法は、医療機器分野で表現される、加負荷摩擦抵抗値を荷重数値にしています。

### 水平な引張り抵抗測定による摩擦試験法 (イメージ図)



\* 試料は、生理食塩水または、精製水に浸漬します。

### 測定条件

測定機器	<b>SHOWA DFG-0.2K-R</b>
反復回数	<b>100回</b>
測定速度	<b>500 mm/min</b>
測定領域	<b>100 mm</b>
垂直負荷	<b>50 gf (0.49N)</b>

### 試験結果

PTFE 被覆のガイドワイヤー (0.016inch) (未処理)	Ave. 120gf (1.18N)
PTFE 被覆のガイドワイヤー (0.016inch) 親水コート	Ave. 53gf (0.52N)
シリコンチューブ (外径 5.0mm) (未処理)	Ave. 0.F (測定不能)
シリコンチューブ (外径 5.0mm) 親水コート	Ave. 10gf (0.10N)

ポリウレタン、ナイロン素材の樹脂チューブは、概ね 親水コート の場合は、<5gf (0.05N) になります。

上記測定結果のように、親水コート を施すことにより、著しく摩擦抵抗値が低下します。  
用途により、潤滑性重視(EXコート)、耐久性重視(ESコート)、防汚性重視(FSコート)があります。

株式会社ハギテック  
TEL: 043-423-8741  
FAX: 043-423-8684  
e-mail: info@hagitec.co.jp